



Kids English Libraryができました！



鳴門教育大学附属図書館内、児童図書室の中にKids English Library(KEL)が2019（平成31）年4月にオープンしました。

絵本は小学校英語教育センターと児童図書室で管理されていたものを合わせて約1,700冊です。幼児から成人まで楽しめる良質な絵本をレベルごとに整理して並べております。海外の絵本特有の大胆な色使いや構成、絵の端々に見られる海外の様子などから異文化を感じることができ、見ているだけでもワクワクします。さらに、月ごとに季節・色・動物などのカテゴリーを決めて、お勧めの絵本をKELの学生ボランティアが毎月ラックに並べていますので、手にとってご覧ください。

楽しいポップアップの仕掛け絵本やCD付きの絵本は、目で見ても、耳で聴きながら英語に慣れることができるので、幼児や小学生にはぴったりです。テーブルの上には、アルファベットの塗り絵と色鉛筆が置かれており、自由に描いて持ち帰ることもできます。また、中学生や高校生には、文字数が多く内容を楽しめる絵本もありますので、生きた英語の学習にもなります。もちろん成人でも楽しめる名書も多数あります。是非、さまざまな年齢の方々に、さまざまな用途でお使いいただけたらと思います。

児童図書室の開いている水・土・日・祝の13:00～16:00にご利用ください。貸し出しもしております。授業や団体でのご利用の際は、図書館スタッフにご相談下さい。このような、英語絵本の図書室を持つ大学附属図書館や公共施設は日本には殆どありません。このKids English Libraryが、子ども達が真の英語に触れることのできる場となり、地域に愛される場となることを願います。（畑江 美佳）



< Kids English Library 室内 >



令和元年度鳴門教育大学小学校英語教育センターシンポジウムの報告

本年度の小学校英語教育センターシンポジウムを、令和元年10月19日、徳島市内のシビックセンターホールにて開催しました。小学校の先生方を中心に、中学校や教育委員会の先生方および大学院生など、県内外から多くの参加者（70名）がありました。

次年度（令和2年度）から新学習指導要領が全面実施され、小学校中学年には「外国語活動」が、高学年には教科として「外国語科」が導入され、新しい小学校外国語教育が始まります。このような状況を背景に、今回のシンポジウムでは、「いよいよスタート！新しい小学校外国語教育～円滑な実施に向けて～」をテーマに、ご登壇の先生方から、その方向性や考え方、具体的な実践についてお話いただき、「円滑な実施に向けて何をすべきか」について、ご参会の先生方と一緒に共有することを主旨としました。

まず、信州大学の酒井英樹先生に基調講演として「コミュニケーションの資質・能力の育成のための言語活動」と題してお話いただきました。特に、新しい小学校学習指導要領・外国語活動および外国語科における「言語活動」の意味あいを中心に、酒井先生のご専門の第2言語習得研究の見地から、理論的に言語活動のあり方について解説いただきました。酒井先生のお話をうかがい、私個人的には、教育実践を行うにあたり、その理論的な裏づけを知ることの大切さを感じました。例えば、言語習得には自然な順序があり、児童が英語表現の誤りを犯すのは、言語習得に必要な自発的な仮説検証の営みであり、誰もが必然的に経る過程であることを聞き、少し気が楽になった方もおられたのではないのでしょうか。

続く、シンポジウムでは、新しい学習指導要領の実施に向けた先駆的な取り組みとして2つの実践報告を聴き、酒井先生をコーディネーターに、ご参会の皆さんと議論する時間をもちました。まず、大阪府高槻市立大冠小学校の平山欣生先生から「教科化を意識した授業づくりの実践」と題し、全教員が主体性をもって外国語教育に取り組んだ実践について報告いただきました。既成の指導案や教材等、与えられたものを実践するだけではなく、教員自身が工夫・アレンジして実践する必要性や重要性を感じました。次に、徳島市福島小学校の竹内陽子先生から「素地から基礎へー「楽しむ」「関わる」「つながる」活動を通してー」と題し、新しく始まる外国語教育において変わることで、これまで同様に大切にしなければならないことについてお話いただきました。小学校外国語教育の変革期にあたって、私たちは、何のために英語を教え、何のためにことばを学ぶのかを改めて考えていかねばならないと思いました。

本小学校英語教育センターも、今回のシンポジウムにおいて共有させていただいた貴重なお話やお取り組みをふまえながら、地域の先生方とともに、小学校の外国語教育をもり立てていきたいと考えております。ご登壇の先生方には、貴重なお時間を割いて徳島までお越しいただき、有益なお話をしていただきましたことに、心から感謝申し上げます。そして、ご参会の先生方にも、お忙しい中、新しい小学校外国語教育につきまして、ともに理解を深め、また、課題を共有していただきましたことに、心より感謝申し上げます。

今後とも、地域の小学校外国語教育を共に盛り立てていきましょう。（山森 直人）

